allcinema

家光と彦左と一心太助（1961）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 93分
初公開日 1961/01/03

【解説】
　中村錦之助が家光と一心太助の二役を演じ分け人気を誇る「一心太助」シリーズの第四弾。これまでのキャストを一新、いわば番外編的な内容だが、シリーズ最高傑作の呼び声も高い。脚本は「森の石松鬼より恐い」の小国英雄、監督は前作に引き続き沢島忠が担当。
　元和九年元旦。華やかな祝典が行われる江戸城で、次代将軍の家光が毒殺されそうになる事件が発生する。家光の弟である忠長を偏愛する北の方が本多上野介と組んで仕掛けたことだった。正装した一心太助が家光と瓜二つであることに気づいた大久保彦左衛門は、家光の身を守るため、二人の立場を入れ替えることにする。太助のふりをして長屋に帰る家光と、家光のふりをして城内で生活する太助。そんな中、家光に扮した太助は忠長に呼び出される。

【クレジット】
監督 沢島忠
企画 中村有隣
　　小川貴也
脚本 小国英雄　Hideo Oguni
撮影 坪井誠
美術 井川徳道
音楽 鈴木静一
出演 中村錦之助
　　中村賀津雄
　　北沢典子
　　桜町弘子
　　進藤英太郎
　　木暮実千代
　　平幹二朗
　　山形勲
　　田中春男

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.